

FUJISOFT Report 2021

第52期中間報告

(2021年1月1日▶2021年6月30日)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の業績について、ご報告申し上げます。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、経済活動の再開や、各種政策の効果、海外経済の改善を背景に回復基調にあるものの、一部業種では依然として弱さが見られます。感染拡大の波は断続的に続いており、また、中国を巡る国際情勢の影響も懸念され、先行きは不安定な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、引き続き「働き方改革」や「DX（デジタルトランスフォーメーション）」をキーワードとした生産性向上や業務効率化、さらにビジネスモデルの変革を目的としたシステム投資需要が高止まりしております。また、デジタルガバメント実現に向けたデジタル庁の創設を始め、各省庁や地方自治体においてもDX戦略が加速する等、ICT投資のさらなる拡大が期待されております。一方で、企業業績の回復水準にはバラつきがあり、企業の投資判断は、成長に不可欠な分野に対して重点的に行われる等、選別志向の傾向が見られました。

このような状況の下、当社グループは、新型コロナウイルス感染症やDXで加速する働き方改革等で需要の高まる分野に対して、積極的な経営資源の投入や新サービスの展開をするとともに、コロナ禍で一時的に低調となった分野においても、ICT投資意欲の復調に向けた先端技術への先行投資や積極的な営業活動を継続してまいりました。

以前より当社が重点技術と位置づける「AIS-CRM」分野におきましては、セキュリティ(S)分野では、新たなサイバーセキュリティサービスの提供開始や他社との協業を進め、クラウド(C)分野では、クラウドベンダーのサービスと当社の技術を融合したビジネスによりさらなる事業拡大を図ってまいりました。



代表取締役 社長執行役員

坂下 智保

また、社内のデジタル化・DXを加速度的に推進するための専門組織を強化し、当社自身のDXを強力に推進するとともに、そこで得た経験やノウハウを生かし、最上流から下流まで一気通貫のサービスを迅速に提供するためのコンサルティング専門部隊も配置し、多層的なITサービスの拡充にも積極的に取り組んでまいりました。

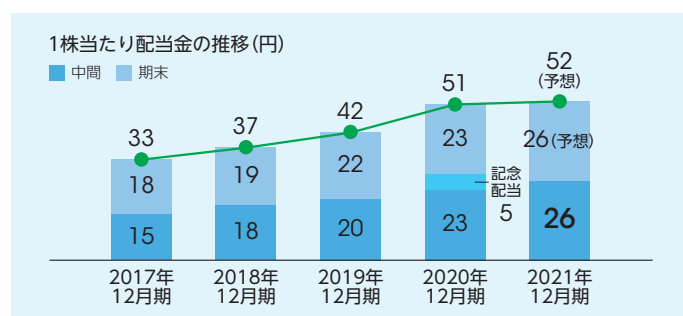
このような活動により、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、次頁の連結業績ハイライトの通りとなりましたことをご報告いたします。

中間配当について

当社は、積極的な事業展開や不慮の事業リスクに備えるために一定の内部留保を確保しつつ、「安定的な利益還元」という基本方針に基づき配当を行っております。

当期の中間配当については、業績を勘案し、期初予想の1株当たり25円から1円増額の26円とさせていただきます。

また、期末配当予想も1株当たり25円から1円増額の26円に修正し、2021年12月期の年間配当予想につきましては、合計2円増額となる1株当たり52円に修正いたしました。



連結業績ハイライト

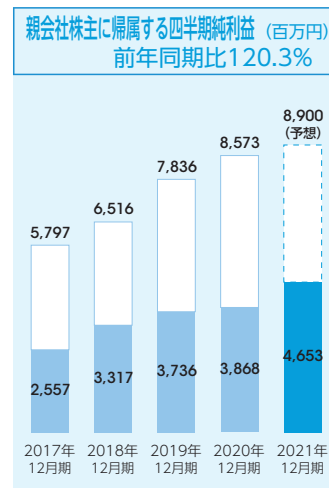
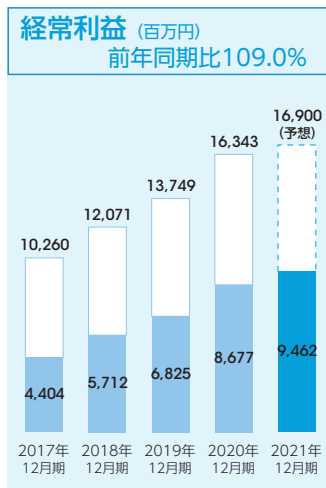
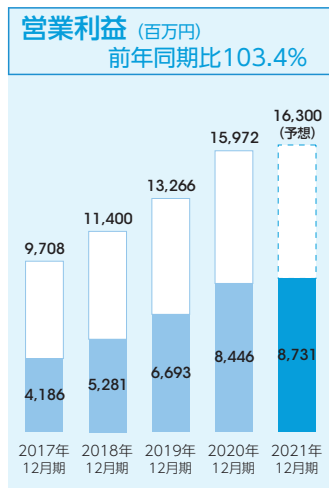
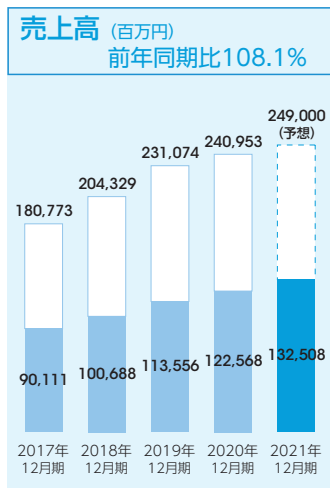
売上高はライセンス販売およびハードウェア製品販売を中心にプロダクト・サービスが好調に推移し、業務系分野ではシステムインフラ構築および金融業向けが好調に推移したことにより、前年同期比108.1%の132,508百万円となりました。

当社ホームページ

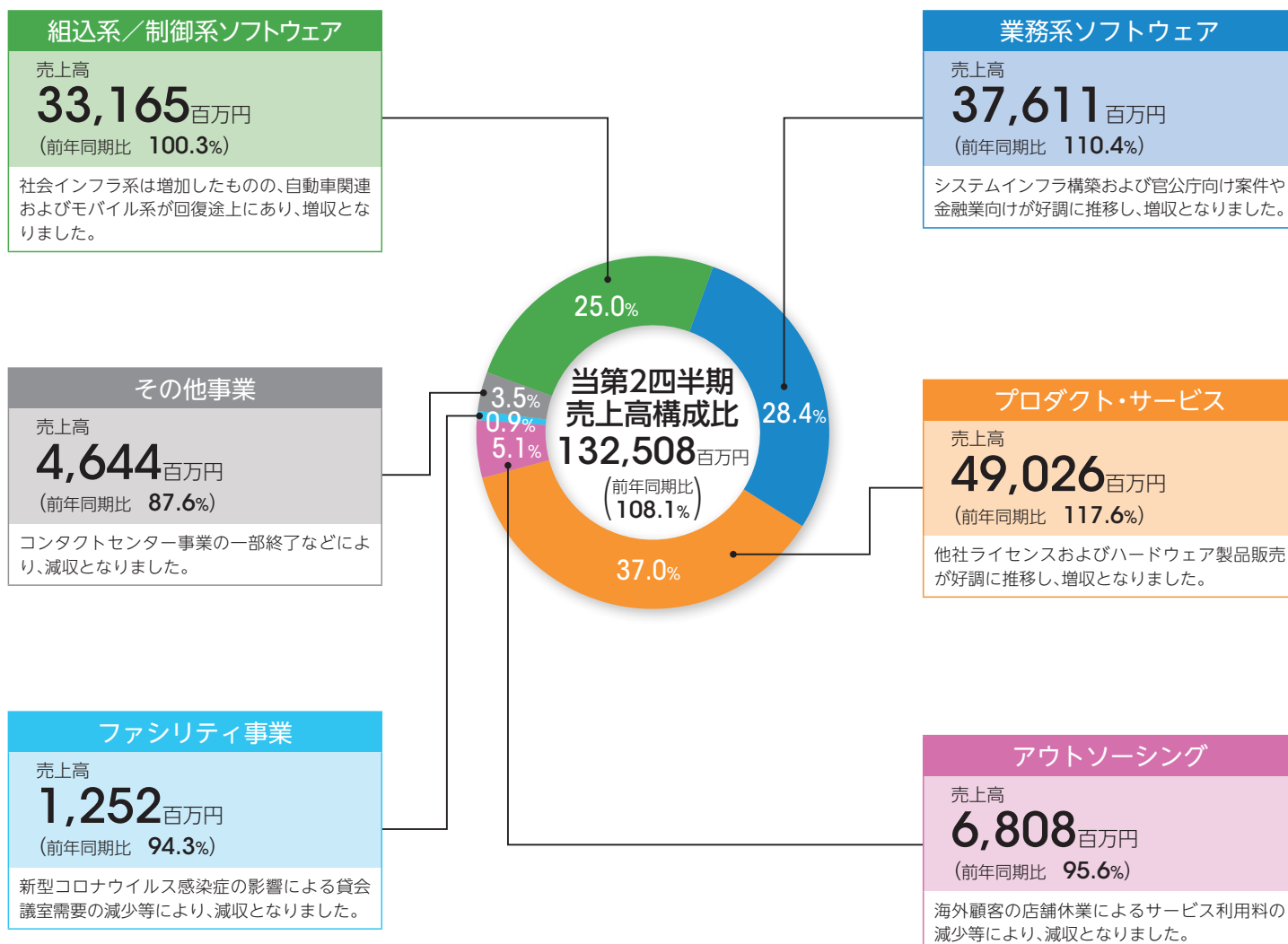


- ◆営業利益は、増収により前年同期比103.4%の8,731百万円となりました。
- ◆経常利益は、増収および為替差益の増加等により前年同期比109.0%の9,462百万円となりました。
- ◆親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却による特別利益の増加等により前年同期比120.3%の4,653百万円となりました。

<https://www.fsi.co.jp/ir/library/>

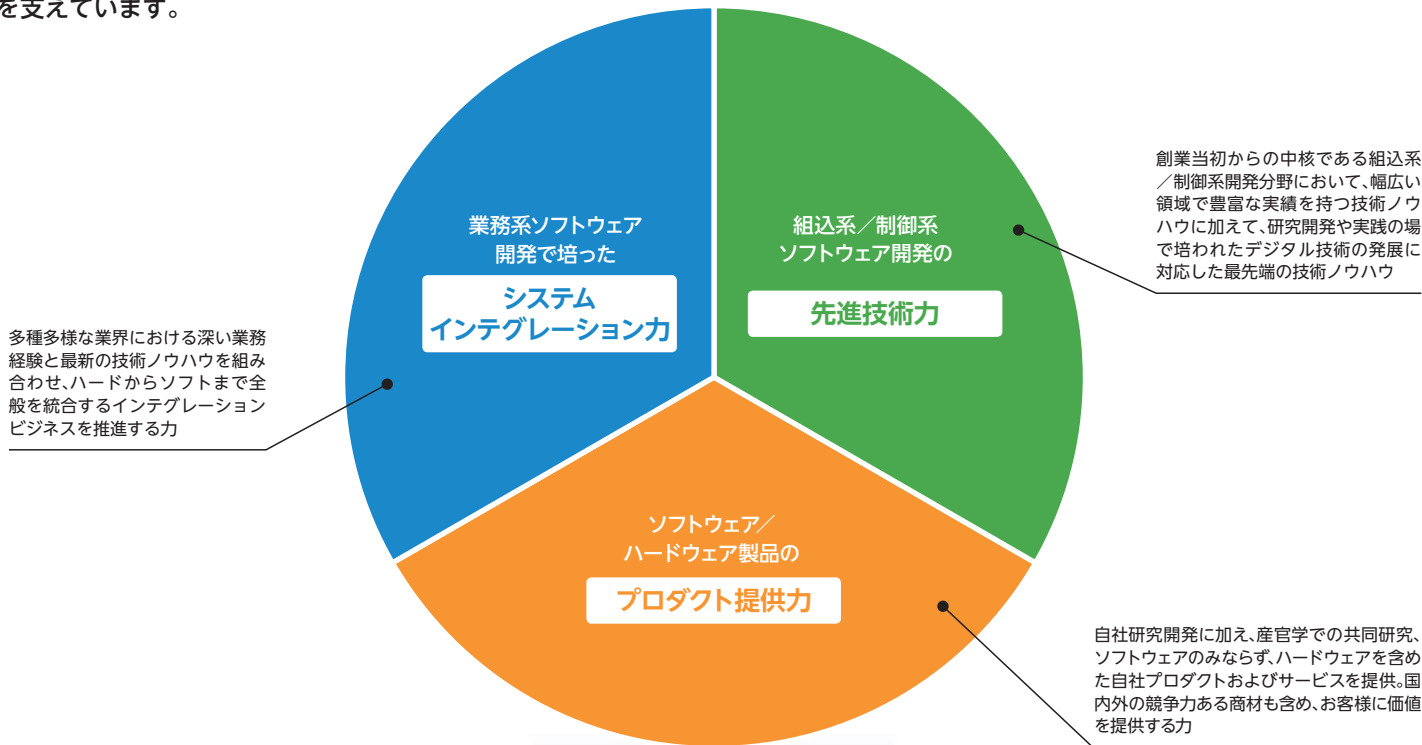


連結セグメント別売上高



事業戦略 ● 富士ソフトの成長を支える3つの強み

創業当初から事業の中核を担ってきた組込系／制御系ソフトウェア開発における「先進技術力」と、流通業・製造業・金融業などのお客様への業務系ソフトウェアにおける「システムインテグレーション力」は、グローバルな競争時代を勝ち抜くビジネスイノベーションとものづくりを支えています。この2本柱に、研究開発や共同開発で培った「プロダクト提供力」を加えた3つの強みが、当社事業戦略を支えています。



そして、新技術への果敢な取り組み「^{アイスクリーム}AIS-CRM」

新技術分野「AIS-CRM」として、AI、IoT、Security、Cloud、Robot、Mobile & Automotiveを位置づけています。これまで培ってきた技術とソリューションを融合させることにより、今までにない付加価値と新しいビジネスチャンスを生み出します。常に時代のニーズにあったサービスを作り続け、国内外のお客様に最適なサービス、プロダクトをご提供いたします。

時代の最先端ニーズにあったIoTをインテグレーション

組込系技術とビッグデータ分析などを組み合わせてIoTの世界をワンストップサービスで提供いたします。

「AI」をお客様のビジネスに

最先端の「AI」を活用し、経営的観点、ビジネス的観点、技術的観点からAIをインテグレーション、お客様に最適なサービスを提供いたします。



AI Integration

業務系ソフトウェア開発で培った
システムインテグレーション力



IoT Integration

組込系／制御系ソフトウェア開発の
先進技術力

セキュリティ脅威への対応 お客様の安全と利益に貢献

新たなテクノロジーの発展に伴う、さまざまな脅威への対応を行うトータルセキュリティの提供、お客様の安心と利益に貢献いたします。



Security Integration



Auto Motive Integration

スマートモビリティ社会の構築
常に発展し続ける自動車ソフトウェアへ積極的に対応し、車載組込システムと情報・通信プラットフォームの融合を進めます。

あらゆる業種・業態に対応するクラウドサービス

業種、業態やお客様のニーズに最適なクラウドサービスをプライベートからパブリックまで幅広くご提供いたします。



Cloud computing Integration

ソフトウェア／ハードウェア製品の
プロダクト提供力

Robot Integration

AIとロボティクス、コミュニケーションロボットの開発を実現する先進の技術

AIとロボティクス技術を結集したコミュニケーションロボット「PALRO」の活用と産業用ロボット分野を支えるソフトウェア技術で新たな価値を創出します。



Mobile Integration

さまざまなデバイスで、「いつでも、どこでも、つながる世界」を実現

タブレット、デジタル家電、モバイル、自動車、FA・OAなどあらゆる機器（デバイス）をクラウドと連携し、「いつでも、どこでも、つながる」を実現する世界を支えています。



<トピックス>

仮想オフィス空間「FAMoffice(ファミオフィス)」を販売開始 ニューノーマルな働き方におけるコミュニケーションを支援

コロナ禍以降のテレワークをはじめとするニューノーマルな働き方を見据え、当社で2020年7月よりコミュニケーションの課題を解決するための社内ツールとして活用していた「FAMoffice」を製品化し、2021年6月15日より販売を開始いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の対策で普及したテレワークは、今後は標準的な働き方として企業へ定着することが予想されます。その一方で、コミュニケーションロスによる生産性低下や孤独感などのストレス、さらには会社への帰属意識、愛着心の低下なども危惧されています。この「FAMoffice」は、ちょっとした相談や、雑談、声掛け、一緒に働いているという一体感をバーチャル上で実現できる仮想オフィス空間です。バーチャル空間上のオフィスにアバターとして出社するだけで、共に働くメンバーの状況を俯瞰し、気軽なコミュニケーションをとりやすい環境と仕組みを提供します。当社は、これからもICTの力で社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。



バーチャル空間の仮想オフィスに自分の分身であるアバターが出社するイメージ

<CSRニュース>

エル Lキャリア推進室の新設

当社は、「バックグラウンドに関わらず“人”の可能性を信じ誠実に働く人を大切に、志をもって努力する人に挑戦する機会を与え多様な人材登用と多様な働き方を実現していく」を人事ポリシーに掲げ、各種人事施策に取り組んでおります。今後、さらに女性活躍を加速するべく、全社横断的な組織「Lキャリア推進室」を2021年8月1日に発足させ、持続的な課題解決と取り組みの活性化を目指します。当社は2024年3月までに指導的地位に就く社員の女性比率を13.5%から15%に引き上げることを目標としています。

※LキャリアのLは、厚生労働省が定める女性活躍推進企業「えるばし認定」とLady(女性)の意

特例子会社富士ソフト企画株式会社 神奈川県で初めて「もにす認定制度」に認定

障害者雇用の促進および雇用の安定に関する取り組みが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する「もにす認定制度」が2020年12月24日に発表され、特例子会社の富士ソフト企画株式会社を含む3社が神奈川県で初めて認定されました。同社は、1991年設立、2000年に富士ソフトの特例子会社として認定され20周年を迎えました。社員がやりがいをもって長く働き続けることができる職場を目指し取り組んでいます。

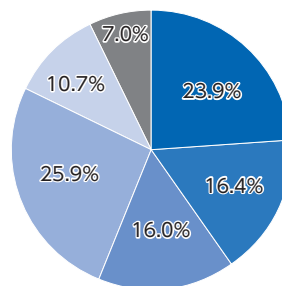
※もにすとは、共に進む(ともにすすむ)という言葉に由来



株式の状況 (2021年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 130,100,000株
- 発行済株式の総数 31,340,351株
(自己株式を除く)
- 株主数 6,345名
(前年同期比1,892名減)
- 一単元当たりの株式数 100株

●所有者別株式分布状況



- 金融機関
23.9% (前年同期比 4.9%減)
- その他国内法人
16.4% (前年同期比 0.9%増)
- 個人・その他
16.0% (前年同期比 2.2%減)
- 外国法人等
25.9% (前年同期比 0.4%減)
- 金融商品取引業者
10.7% (前年同期比 6.7%増)
- 自己株式名義
7.0% (前年同期比 0.1%減)

当社の事業活動やCSR活動などについては、以下コーポレートサイトよりご覧いただけます。

スマートフォンからは
こちら



パソコンからは
こちら

富士ソフト
www.fsi.co.jp

検索

富士ソフト 株式会社 www.fsi.co.jp

本社 〒231-8008 神奈川県横浜市中区桜木町一丁目1番地

BAJI-AC(M)-801-68B-CRFSI/PPN 証券コード：9749

